

2024年3月の氷ノ山

3月2日、鉢伏スキー場も、氷ノ山国際もクローズで今回の氷ノ山千本杉ヒュッテ行きも土の上を歩いて行くんだらうという予想は見事にはずれた。昨日晩からの降雪がかなりの量でそれもサラサラ、前方の現役陣のラッセルは結構なもの。東尾根に出ると南からの強風雪で10分前のラッセルがどんどん埋まって行く。氷ノ山でこんな本格的な冬山は久しぶりだった。翌朝は美しい快晴。頂上までは気持のいい快晴弱風であったが、俄に黒雲が下がって来たのでブン回しはやめて東尾根を下りた。

居谷千春 記



夜明けの千本杉ヒュッテ
例年屋根まである雪が今年が少ない



15人分の鍋



恒例の氷ノ山鍋



樹氷の古千本あたり



学生たちのラッセルを追う



朝のヒュッテ前



13名の参加者

3月2日氷ノ山国際スキー場の駐車場に着いたら、みぞれ。スキー場は雪が無いので営業をやめている。傘をさして、下の農道とスキー場をトボトボ歩いて上がる。標高が上がると、雪に変わり風も強い。途中でワカン装着。

ポカポカ陽気の陽だまりハイクのもりもりが、なかなかの吹雪。冬山やないかい。神大ヒュッテ泊。山岳部の学生5名、OB2名、日本山岳会関西支部の方々5名、私を含めて13名。学生達が鍋を作ってくれた。薪ストーブに乗せて、あったまる～。

3日風があり気温が低いけど、晴れ。山頂へ。樹氷が美しい。ラッセルしている学生に追い付かない。若いわって、いいなあ！山頂避難小屋で休憩後、下山。

最近、ひとり登山が多いけど、久しぶりの大人数登山だった。

山本恵昭 記